

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
191

発行 2026年9月

令和8年第2回定例会議決結果一覧
令和8年第3回臨時会議決結果一覧
議会の動き

全国町村議会議長・副議長研修会
一般質問ダイジェスト

令和8年度北部市町村議会議長会
県外視察 / 選挙のおしらせ

議員自治功労者表彰

キラリ★いぜなっ子 / 編集後記

2～3

4

5

6～7

8～9

10



ドラゴンフルーツ（一夜花）

【花言葉】「燃える心」「永遠の星」



第14回 伊是名漁協ハーリー大会（航海安全・豊漁祈願）

令和8年 第2回伊是名村議会定例会 結果一覧

令和8年第2回伊是名村議会定例会は、6月10日(水)～11日(木)までの2日間で開催された。
本定例会に提案された議案は27件、うち承認2件、報告1件、同意1件、陳情2件です。一般質問には2名の議員が登壇し村政について質問した。結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の内容	審議結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村税条例の一部を改正する条例)	伊是名村税条例の一部改正	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	伊是名村国民健康保険税条例の一部改正	承認
報告第2号	令和7年度伊是名村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和7年度伊是名村一般会計における17事業の繰越要因とその計算書の報告	報告
議案第34号	伊是名村定住促進住宅条例の一部を改正する条例	定住促進住宅諸見1号棟の建築工事完成に伴う施設の名称及び位置を定める条例の一部改正	原案可決
議案第35号	令和8年度伊是名村一般会計補正予算(1号)	34,558千円追加し、歳入歳出それぞれ3,898,727千円とする。	原案可決
議案第36号	令和8年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(1号)	3,560千円を追加し、歳入歳出それぞれ13,650千円とする。	原案可決
議案第37号	令和8年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(1号)	16,643千円を追加し、歳入歳出それぞれ519,403千円とする。	原案可決
議案第38号	令和8年度伊是名村簡易水道事業会計補正予算(1号)	(収益的収入及び支出) 簡易水道事業収益1,909千円追加し、合計150,137千円とする。 簡易水道事業費用859千円追加し、合計93,015千円とする。 (資本的収入及び支出) 資本的支出1,050千円追加し、合計190,433千円とする。	原案可決
議案第39号	工事請負契約について (伊是名東部地区71号農道橋更新整備工事(R8))	目的：伊是名東部地区71号農道橋更新整備工事(R8) 契約の方法：随意契約 契約金額：99,000,000円 相手方：株式会社 高宝建設 代表取締役 高良 泰司	原案可決
議案第40号	物品購入契約について (GIGAスクール第2期学習者用端末(タブレット)購入)	目的：GIGAスクール第2期学習者用端末(タブレット)購入 契約の方法：随意契約 契約金額：8,856,012円 相手方：OCC・興洋電子・学映システム共同企業体	原案可決
議案第41号	指定管理者の指定について (伊是名区ふるさとの村宿泊交流施設)	代表者：伊是名区 区長 伊佐川 正雄 指定期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第42号	指定管理者の指定について (仲田地区農村総合管理施設)	代表者：仲田区 区長 東江 克伸 指定期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決

議案第43号	指定管理者の指定について (諸見地区交流促進センター)	代表者：諸見区 区長 上里 圭一 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第44号	指定管理者の指定について (内花区地域活動拠点活性化施設)	代表者：内花区 区長 神里 五月 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第45号	指定管理者の指定について (勢理客区ふるさとの村宿泊交流施設)	代表者：勢理客区 区長 末吉 實好 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第46号	指定管理者の指定について (伊是名区農村公園)	指定管理者となる団体：伊是名区 代表者：区長 伊佐川 正雄 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第47号	指定管理者の指定について (仲田区農村公園)	指定管理者となる団体：仲田区 代表者：区長 東江 克伸 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第48号	指定管理者の指定について (諸見区農村公園)	指定管理者となる団体：諸見区 代表者：区長 上里 圭一 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第49号	指定管理者の指定について (内花区農村公園)	指定管理者となる団体：内花区 代表者：区長 神里 五月 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第50号	指定管理者の指定について (勢理客区農村公園)	指定管理者となる団体：勢理客区 代表者：区長 末吉 實好 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第51号	指定管理者の指定について (伊是名村体験交流観光連携施設)	指定管理者となる団体：伊是名村商工会 期間：令和8年7月1日から 令和13年6月30日まで	原案可決
議案第52号	指定管理者の指定について (定住促進住宅諸見1号棟)	指定管理者となる団体：諸見区 代表者：区長 上里 圭一 期間：令和8年7月1日から 令和13年3月31日まで	原案可決
議案第53号	指定管理者の指定について（追認） (伊是名村特産品（モズク） 最終選別施設)	指定管理者となる団体：伊是名漁業協同組合 代表者：代表理事組合長 伊禮 米市 期間：令和5年4月1日から 令和14年3月31日まで	原案可決
議案第54号	指定管理者の指定について（追認） (定住促進住宅内花1号棟及び2号棟)	指定管理者となる団体：内花区 代表者：区長 神里 五月 期間：令和7年4月1日から 令和13年3月31日まで	原案可決
同意第5号	監査委員の選任について	上原 長良	同意
陳情第1号	島産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	地元産品・地元企業優先使用と啓蒙啓発	採択
陳情第2号	県産品の優先使用について（陳情）	県産品の啓蒙啓発	採択

令和8年 第3回伊是名村議会臨時会 結果一覧

令和8年第3回伊是名村議会臨時会は、7月13日(月)の1日間で開催された。
本臨時会に提案された議案は4件、うち報告2件です。結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の内容	審議結果
報告第3号	令和7年度伊是名村簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告について	令和7年度伊是名村簡易水道事業会計における2事業の繰越要因とその計算書の報告	報告
報告第4号	令和7年度伊是名村農業集落排水事業会計予算繰越計算書の報告について	令和7年度伊是名村農業集落排水事業会計における1事業の繰越要因とその計算書の報告	報告
議案第55号	令和8年度伊是名村一般会計補正予算(第2号)	14,435千円追加し、歳入歳出それぞれ3,913,162千円とする。	原案可決
議案第56号	令和8年度伊是名村簡易水道事業会計補正予算(第2号)	(収益的収入及び支出) 簡易水道事業収益9,968千円追加し、合計160,105千円とする。 簡易水道事業費用9,968千円追加し、合計102,983千円とする。	原案可決

議会の動き

令和8年6月

- 8日(月) ・議会運営委員会
- 9日(火) ・令和8年度伊是名村教育懇談会(議長)
- 10日(水) ・第2回定例会(～6月11日(木))
- 18日(木) ・名桜大学「新旧理事長・学長」離任・就任激励会(議長)
- 20日(土) ・第14回伊是名漁協ハーリー大会
- 23日(火) ・令和8年 第57回伊是名村戦没者慰霊祭 伊是名村「慰霊塔」



- 25日(木) ・令和8年度 第74回伊是名漁業協同組合通常総会(議長)
- 27日(土) ・幼・小合同運動会(議長・副議長)
- 29日(月) ・2026伊是名村青少年育成支援チャリティーゴルフ大会(沖縄カントリークラブ) 議員チーム1パーティー参加



令和8年7月

- 1日(水) ・地元産品奨励月間に伴う「地元産品優先使用の要請活動」(議長・副議長)
- ・第76回北部地区「社会を明るくする運動」伊是名村出発式



- 8日(水) ・令和8年度北部市町村議会議長会 県外視察研修(～7月12日(日))(議長・局長)
- 13日(月) ・第3回臨時会
- 15日(水) ・令和8年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会・交流会(議長)
- 18日(土) ・チヂン園 創立35周年記念式典・祝賀会
- 21日(火) ・2026年県産品奨励月間 県産品優先使用の要請行動(副議長)
- 27日(月) ・北部広域市町村圏事務組合議会 第68回定例会(議長)

令和8年8月

- 10日(月) ・広報委員会
- 12日(水) ・令和8年度北部振興会総会(議長)
- 14日(金) ・北部市町村議会議長会第2回定例会(議長)
- 15日(土) ・第27回いぜん尚円王まつり(～8月16日(日))
- 18日(火) ・第3回定例会

令和 8 年度 全国町村議長・副議長研修会

議長 潮平 そのみ 副議長 伊禮 正徳

日本全国市区町村 1,741 自治体のうち町村 926 箇所からの正副議長約 2 千名が集い、5 月 26 日東京国際フォーラムにおいて研修会が開催された。沖縄県から正副議長 61 名が参加した。

はじめに「地方創生の先行き地域未来戦略とともに」と題して、一般財団法人 地域活性化センター理事長、林崎理氏による講話で、日本の人口減少と東京一極集中に歯止めをかけそれぞれの地域が独自の魅力を活かして自律的かつ持続的な社会を創り出すための国家プロジェクトについてである。東京一極集中は依然として続き、国の人口減少も続いている。地方移住は一部の地方自治体の人口が増えている現象とのことである。しかし、ここ 10 年の取り組みで様々な好事例もうまれているとの紹介等であった。

次に東海大学教授、万城目正雄氏による「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」と題しての講話である。日本にいる外国人労働者は増加している。国籍別にみるとアジアが最も多い。我が国の人手不足による人材の育成・確保を目的とする育成制度（令和 9 年運用開始）についての主な内容であった。

また、「男女共同参画で地域を元気に～

人口減少を生き抜く方策～」と題して京都女子大学長の竹安栄子氏の講話が行われた。

特に地方議員のなり手不足による危機として議会活動への住民の無関心、行政の政策競争の欠如、地方自治の弱体化を挙げている。さらに女性議員のなり手に立ちはだかる壁として性別役割の壁、家族親族の壁、男性優位の文化的社会的構造を挙げ、その壁を乗り越えた女性だけが立候補出来る現状であるとの調査報告である。

各地域で女性議員を増やすには、議会が取り組むべきこと、町村全体で取り込むべきことについて強調されていた。

さらに議会が取り組んだ成功事例として、宮城県蔵王町議会が取り組んだ事をあげ、町内の女性に一般質問を体験してもらう「女性模擬議会」を開催したところ、30 代から 70 代の 7 名の女性模擬議員が女性模擬議会を体験したことで、翌年の蔵王町議員選挙（定数 13 名）で初の女性議員 3 名の誕生に繋がったことの報告があり、その 3 名の女性議員が舞台に登壇して紹介され、それぞれの体験が発表された。

今回の各研修は各町村議会が参考にできるものと大いに期待のもてる、大変意義ある研修会であった。

以上、報告と致します。



東京国際フォーラムにて



研修中の様子

Q1 伊是名小学校の校門に関する文化財指定について

Q2 二宮金次郎像に関する文化財指定について



あがり え きよかず
東江 清和 議員

Q1 東江 清和 議員

伊是名小学校は昭和6年に赤瓦屋根の鉄筋コンクリート校舎として始まり、その後3回建て替えられたが、校門と二宮金次郎像は昭和の面影を伝えてきました。築約95年の歴史的価値を踏まえ、両者を文化財に指定し、保存継承して後世につなげる考えはないか伺います。

A 奥間 守村長

村内の重要なものについては、保存と活用に必要な措置を講じるため指定することができま。指定に当たっては、教育委員会の学芸員等が歴史的価値を調査し、文化財保護審議委員会へ諮問します。審議委員会の答申を受け、最終的に教育委員会が指定の可否を判断します。

A 照屋 巧 教育長

旧校舎の校門は、新校舎建設に伴う移設時に基礎部分から崩壊し、復元が困難となりました。現在の門柱は旧門柱から型を取り、令和4年度に新たに復元したものであるため、当初は文化財指定を考慮していませんでした。二宮

金次郎像は、昭和12年頃に銘菊正太郎氏ら有志によつて寄贈、建立されたと記録されています。県内では7基を確認していますが、国・県・市町村の指定文化財となっている例は把握していません。指定の適否や価値について、類似事例を調査し慎重に判断します。

Q 東江 清和 議員

校門は移設時に一部が破損したものの、設計者や当時の建設委員会には、元の姿を残そうという意思があったと聞いています。校門は卒業生にとつて懐かしい原風景であり、島の景観が大きく変わる中、昭和の面影を伝える貴重な存在です。沖縄の鉄筋コンクリート建築の先駆者となる清村勉氏が設計した可能性も含め、文化財保護審議委員会で検討すべきではないでしょうか。

A 奥間 守村長

門柱は残す方針で移動したが崩壊し、以前の型に沿って新設したものの、表層を含め旧来の部分はほとんど残っていないと聞いています。現在の門柱が文化財指定の要件に該当するかは、教育委員会が経緯や資料

を確認し、必要に応じて文化財保護審議委員会に諮った上で判断することになります。

A 照屋 巧 教育長

修復の範囲や歴史的、教育的価値について十分な情報収集ができていませんでした。島を離れた方々の懐かしい原風景への思いも考慮し、設計者や建設当時の資料、復元の経緯を改めて詳しく調べ、文化財保護審議委員会にかけてみます。

A 東江 隆路 教育振興課長

旧門柱は重機で吊り上げた際に崩れ、復元不可能となったため、現在の門柱は令和4年度に元の門柱を型取りし、一から新設したものです。

Q2 東江 清和 議員

二宮金次郎像は、学校の卒業写真にも残り、多くの村民に親しまれてきました。建立から約90年が経過し、戦時中の金属供出によって当初の像からコンクリート像へ変わったとされ、手の破損などを二度修復しながら受け継がれてきました。県内に指定例がないのであれば、伊是名村が先駆けて文化財に指定し、

勤勉、儉約、報徳の精神と寄贈者の思いを子どもたちへ伝えてはどうでしょうか。

A 照屋 巧 教育長

調査した範囲では、全国に台座が登録有形文化財となった例や、文化遺産オンラインへの登録、歴史資料として扱われる例はあるが、像そのものの指定事例は確認できていません。一方、島を離れた有志が故郷と子どもたちを思い、勉学、節約、勤労、社会への恩返しを願って寄贈した経緯には、歴史的、教育的価値があると考えています。二度の修復を経て現在も学校の正門に立つ経緯を含めて資料を集め、文化財保護審議委員会に諮りたいと思います。

Q 東江 清和 議員

校門と二宮金次郎像は、島を離れた卒業生が帰郷した際に、当時を思い出す大切な景観です。古いものを新しくするだけでなく、価値あるものを文化遺産として積極的に残す姿勢が必要です。両者について詳しく調査し、文化財保護審議委員会で前向きに検討していただきたいと思っています。



堆肥センター内の攪拌機

Q J A伊是名支店 堆肥センターの 機器の整備について



うえはら ちようりよう
上原 長良 議員

Q 上原 長良 議員

J A伊是名支店堆肥センターは平成8年の設置から約30年が経過し、施設内の機器に経年劣化による不具合が生じています。特に堆肥製造の心臓部である攪拌機が数年前から故障し、島内産堆肥の製造に支障をきたしているのを、補助金等を活用して機器を整備することは可能か伺います。

A 奥間 守村 長

同センターは当時の伊是名村農業協同組合が事業主体となって整備した施設で、修繕が頻繁に発生していると聞いています。攪拌機は令和元年頃から使用不能であることと把握していますが、これまでJ Aから村への整備要望はありません。活用できる補助事業のメニューはあるものの、施設はJ Aおきなわの所有であり、まずはJ Aで検討すべき事案と考えますが、早期に修繕され、畜産農家からの原料回収と農家への堆肥供給が再開されることを期待しています。

Q 上原 長良 議員

今後J Aから要望があり、協議が行われた場合、補助金を活用して機器を整備することは可能でしょうか。

A 濱里 篤 農林水産課長

現在、活用を検討できる複数の公募事業を把握しています。以前の風乾施設整備ではJ Aが事業主体となり、村が間接補助の形で支援した実績がありますので、J Aから正式な要望があれば、村が補助制度への橋渡しを行い、協力して取り組むことは可能と考えています。

Q 上原 長良 議員

沖縄振興一括交付金を活用した伊是名村土づくり支援事業は、平成24年度の開始から14年間で堆肥約2万8千トン、事業費約4億4,300万円を投じ、さとうきび生産の振興に大きく寄与してきました。今年度、島外からの堆肥導入量が従来の2千トンから1千トンに半減した理由を伺います。

A 濱里 篤 農林水産課長

令和5年度から7年度まで、実際の配布量は毎年約

2千トンでした。村内で1千トンを製造できるとの前提から、令和8年度は村内産1千トンと一括交付金による島外産1千トンを合わせ、計2千トンを配布する計画です。

Q 上原 長良 議員

前年度までは島内産1千トンと島外からの導入2千トンを合わせ、計3千トンを確保する計画でしたが、令和5年度以降は島内産が製造できず、実際の散布量は島外産2千トンとなっていました。現状では攪拌機が動かず、島内産堆肥を1千トン製造できていません。攪拌機を整備して島内産1千トンを製造できるようにになれば、島外からの導入を従来どおり2千トンとし、合計3千トンを確保できるのか伺います。

A 濱里 篤 農林水産課長

近年の実績は配布担当者が1人であることもあり、年間約2千トンの配布にとどまっています。J Aでは攪拌機の電気系統を含む修理を検討し、見積りを依頼していますが、補助事業化には計画から実施まで約2年を要し、そ

これまで待てない事情もあるため、見積り取得後にJ A畜産部と協議する予定と聞いています。早期に改修し、村内産堆肥1千トンの製造を開始してほしいと考えています。

Q 上原 長良 議員

第5次伊是名村総合計画には、老朽化した農業施設の更新と長寿命化が掲げられています。農薬、化学肥料など生産資材が高騰し、肥料価格も10年前の約2,200円から約3,500円に上がる中、農家は堆肥導入事業に大きな期待を寄せています。従来の植替えや更新時だけでなく、現在は株出しにも積極的

北部市町村議会議長会 県外視察研修に参加して

議長 潮平 そのみ



令和8年7月8日から10日まで（2泊3日）の日程で、北部市町村議会議長会主催による県外視察研修に参加して参りました。視察場所は、横浜市下水道河川局北部汚泥資源化センター（横浜市）、松本市公設地方卸売市場及び地球の恵みファーム松本（長野県）の3施設でありました。その内容について報告いたします。

(1) 横浜市下水道河川局北部 汚泥資源化センター

（7月8日）

① 下水再生リン回収事業及び 肥料化の取組

横浜市では、国土交通省が実施している下水道革新的技術実証事業（B-I-D-A-S-Hプロジェクト）の一環として、市と月島JFEアクアソリューション（株）と共同で、市内の5処理場から配管を通して送られてくる下水汚泥からリンを回収する実証事業に取り組んでいた。汚泥を処理する過程で発生する脱水液に水酸化マグネシウムを注入し、脱水液中のリンを肥料



北部汚泥資源化センター

原料として利用可能な結晶化したリン酸マグネシウムアンモニウムを回収するものである。回収された再生リンは横浜生まれの「はま巡リン」（横浜市民の資源（汚泥）から生まれた再生「巡る」リン）と名付けられ、それを配合した肥料の製品開発・製造や市内を中心とした流通等の利用促進に向け、JA全農かながわ（製造）、JA横浜（販売）と連携して取り組んでいました。この取り組みは、持続可能な農業と資源循環型社会の構築に貢献するものとして期待されている。

る。ちなみに、本村の農業集落排水処理施設からでる処理水については、かんがい用水として再利用されており資源の循環が行われていると感じた。

② 下水道資源を活用した スマート農業実証事業

循環型社会構築への貢献と農業のスマート化に向け、同施設内の農業ハウスにおいてスマート農業機器により温湿度等を制御した環境下で、下水再生水や下水熱等の下水道資源を活用した栽培実証を行っていた。取組内容としては、二酸化炭素の有効活用、機器による遠隔での生育管理の実証、その普及に向けた効果検証、農家等に向けた研修を行うほか、見学会等であった。

横浜市は、大都市でありながら多くの農地があり、米、野菜、果樹、花き、畜産など多彩な農業が営まれているが、小規模で担い手不足、高齢化の課題があり、その対策として作業の省力化や生産性の向上が求められている。そのため技術確立及び

普及が急務であるようだ。今後の展開に期待したい。



研修中の様子

(2) 松本市公設地方卸売市場 （7月9日）

松本市公設地方卸売市場は、敷地面積約120,152㎡、建物面積50,392㎡で平成元年10月に松本市（松本市長）によって開設され、松本市市場管理株式会社が指定管理者となり運営されている。令和6年度の取扱高

は約371億円（青果213億、水産物・食肉143.9億、花き14.5億）となっている。

当市場は中南信地域（長野県の西部と南部）約100万人を中心に、長野県内全域、約210万人の生鮮流通を担う広域拠点市場として位置付けられている。

(3) 地球の恵みファーム・松本 (7月6日)

長野県松本市にある地球の恵みファーム・松本は「バイオマスガス化」「メタン発酵」「陸上養殖」「農業ハウス」の4施設で構成され、地域の未利用バイオマス資源を有効活用してエネルギーや資源に変換し、熱や二酸化炭素を陸上養殖や農業ハウスなどで利用している。養殖排水を農業ハウスで利用、農業ハウスの廃棄物をメタン発酵施設の原料として使用するなど、それぞれの排出物を施設内で利活用するなど持続可能な資源循環を実証する施設であった。

所感

今回の視察をとおして、未利用資源や廃棄物から新たなエネルギーを獲得し、排出される廃棄物を最小化することや、貴重な資源として繰り返し利用する事は自然への負担を減らし環境に優しく持続可能な仕組みであると強く実感した視察研修であった。



地球の恵みファーム・松本にて

～自治の発展に尽力！ 功労表彰される～

令和8年2月24日、沖縄県町村議会議長会表彰規程に基づき、町村議会議員として11年以上在職し、議会活動等を通じ地方自治の発展のために大きな役割を果たしたということで、潮平そのみ議長が沖縄県町村議会議長会より表彰されました。誠にありがとうございます。今後のますますのご活躍に期待がかかります。



明日につながる あなたの一票



任期満了に伴う伊是名村長及び議会議員・沖縄県知事選挙が行われます。**今後4年間の村政・県政を決めていく大事な一票です。ぜひ投票へ行きましょう！**

1. 沖縄県知事選挙

期日前投票期間
8月28日(金)～9月12日(土)

2. 伊是名村長・伊是名村議会議員選挙

期日前投票期間
9月9日(水)～9月12日(土)

投票日 9月13日(日)

伊是名村産業支援センター
午前7時～午後8時

キラリ★いぜなっ子

ザ・学生II

vol.43

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立辺土名高等学校と沖縄県立北部農林高等学校に通うお二人です。

辺土名高等学校(3年生)
な 名 鈴菜さん
す 鈴菜さん
(仲田)



名嘉鈴菜さんは島で自然に触れて育ち、動物も好きだったため、生き物や海、自然を学べる辺土名高校の自然環境科に魅力を感じて入学しました。

高校1、2年生は寮生活を送り、最初の1か月頃はホームシックもありましたが、3年生から自立の準備も兼ねて一人暮らしを始めました。家事、アルバイトをしながら合間に勉強し、興味を持った地学にも取り組んだ結果、成績も上げることができました。

授業では、セミやカエル、鳥の鳴き声を聞き分けるテストや、や

んばるの固有種について学びました。部活動も積極的で、サイエンス部ではヤギや犬の世話をし、夜の山でヤンバルクイナやハブを探す観察活動や研究発表にも参加しました。

テレビ番組の高校生交換留学企画で東京を訪れ、メイクによって自信を得た経験から、人に笑顔と自信を与えられる美容の仕事を目指していると考えてくれました。

卒業後は美容・ブライダル系の専門学校へ進学して幅広い技術を身につけ、将来は島に戻って店を開き、お世話になった島の人に恩返しをして、頼られる存在になることが目標です。

後輩たちには、何事も諦めないで全力で頑張ってほしい。やりた

北部農林高等学校(3年生)
ひ が 比嘉 絵里さん
え り 絵里さん
(諸見)



比嘉絵里さんは中学校の担任や同級生と文化祭へ行ったことをきっかけに、北部農林高校へ進学しました。調理・保育・福祉コースがあり、子どもが好きなのと、周りからの薦めもあり、保育コースを選びました。

祖母と一緒に暮らし、入学当初はあまり知り合いがいなかったので不安でしたが、共通の友人を通して交流が広がり、1学期中には慣れました。休みの日に帰ると、末の弟がくっついてきて可愛いので、帰る日が楽しみと教えてくれました。学校生活では新入生

歓迎会のバレーボールで3年連続校内1位になったことが思い出です。アルバイトもしています。海外のお客様が多く、マニュアルにはない英語でのやり取りで意思疎通ができた時に達成感があり、苦手だった英語で会話できることに成長を感じているそうです。

試験前はバイトを休み勉強に集中しますが、学習を重ねて、中学からの保育士への興味が、最近から明確な将来の目標へと変わり、資格取得に励み、折り紙や絵本の読み聞かせを磨いて保育士になることを目指しています。

島を離れ、島の方々の優しさと支えを改めて実感し感謝しています。後輩と2年後に島立ちを控える妹に、学校や島の行事を楽しみ、今ある環境を大事にしてほしいと伝えてくれました。

編集後記

村民の皆様こんにちは。私たち議会も漁協ハーリー大会、交通安全運動などに参加し頑張っています。

今回のいぜなっ子 ザ・学生IIでは、2人の学生が自分の思いを話してくれました。今期広報委員一丸となって誌面をわかりやすく読んでいただけるよう4年間頑張ってきました。

広報常任副委員長 伊禮 正隆



広報委員会の様子